

《ともに生きる諏訪市民大会》

映画「終わった人」上映会 出演：館ひろし 黒木瞳

入場無料

「夢なし 趣味なし 仕事なし そして、わが家に居場所無し!!」高度成長期を仕事一筋で駆け抜けたサラリーマンが、新たな生きがいと求め、第二のキャリアを築くために、戸惑い、足掻き、奮闘していくその姿と出会う様々な人とのつながりを、優しさ溢れる空気感と等身大の人間模様で綴ったハートフルコメディ。是非、ご来場ください。

- 日 時：平成31年2月16日(土)午後1時30分～(開場：午後0時45分)
- 場 所：諏訪市文化センター
- 定 員：900名(当日先着順、事前申し込み不要)
- その他：定員に達した場合は入場をお断りさせていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。

駐車場は諏訪市多目的広場をご利用ください。暖かい服装でお出かけください。

☆託児サービスがご利用いただけます。

(事前申し込み必要：先着10名：対象：6ヵ月～小学校就学前まで) 2月7日(木)までに、諏訪市地域戦略・男女共同参画課まで電話にてお申込みください。

☆諏訪市公共ポイント実証実験事業です。

参加者の皆さんに「すわともカードポイント」50ポイントがもらえる引換券を差し上げます。

☆ご家庭で余っている食料品をご提供ください。～フードドライブを行います～

「フードドライブ」は、家庭で余っている食料品を持ち寄り、それらをまとめて生活困窮の家庭や福祉団体などに寄付する活動のことです。余っている食料(下記対象品のみ)がありましたら、是非ご協力ください。

○受付時間：午後0時45分～1時30分

○対 象 品：缶詰、インスタント食品、レトルト食品、カップ麺、お菓子

※ただし、次の条件を満たすもの

・常温保存できるもの ・賞味期限が明記され2ヵ月以上あるもの(2019年5月以降のもの)

・未開封のもの(包装が破損していないもの) ・生鮮食料品以外のもの

新 会 員 紹 介

この度、いきいき市民推進チームに入会した白井と申します。私は昨年の4月に神奈川県川崎市から諏訪市に移住し、諏訪地域の事を知りたいと思い入会致しました。入会した事で、諏訪地域の企業視察、他の地域の男女共同参画団体との交流、男女共同参画全国会議などに参加することが出来、とても勉強になっています。これからも沢山の事を学びたいと思います。

(白井 千智)

知人の紹介でこの会に参加させていただきました。当初は「男女共同参画」と言う言葉ですらよく理解していなかったのですが、定例会や企画イベントを通じて、今だからこそ考えるべき問題を意識するようになりました。

(吉田 浩)



編集後記

「諏訪市男女共同参画市民協議会」として平成12年会が発足され、平成28年名称が「いきいき市民推進チーム☆輝くSUWA」に改名され、19年間私達は活動してきました。その間、様々な取組として、ともに生きる諏訪セミナーや市民大会、サポート講座、交流会などの活動を続ける中で、平成時代が終わりを告げることとなります。新しい元号に向けて今後も、男女が社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会の実現に向けて、引き続き私達は活動して参りたいと思います。合わせて市民の皆様「ひとりひとりの豊かな人生」を送るため、新たな会員を募集しておりますので、是非参画をお願いいたします。

男女共同参画情報紙



ご報告 「いきいき市民推進チーム☆輝くSUWA」は、平成30年度「長野県男女共同参画推進県民会議表彰」を受賞いたしました

【長野県男女共同参画推進県民大会】11月4日飯綱町民会館

常日頃より、市民の皆様には、当会の活動にご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。この度、「長野県男女共同参画推進県民会議表彰」を受賞いたしました。当会では、市民への男女共同参画啓発活動として、平成12年「諏訪市男女共同参画市民協議会」設立時より「区政に女性の参画を」と、市内行政区にアンケート調査を実施、また、男女を問わず相応しい人を会長にと、平成20年より小中PTA、保育園保護者会にアンケート調査を毎年継続して行って参りました。平成26年に初の女性PTA会長が、翌年には初の男性保護者会長が誕生し、地域の温度差はありますが、区政への女性の参画も6割の地区に浸透してきました。その他「女性区長誕生」をテーマとした紙芝居、その紙芝居をDVDに作成、情報紙による啓発活動などを長年続けて来たことが受賞に繋がりました。平成28年には、親しみやすい会になるようにと、現名称に変更もいたしました。市民の皆様のご協力があったの受賞と深く感謝申し上げます。



今回の受賞を励みに、行政との両輪でまだまだ深い男女の古いしきたりや慣習の根子の部分を掘り起こしながら、更なる活動を目指したいと思っております。

地道にこつこつ、「継続は力なり」を信じて!

いきいき市民推進チーム☆輝くSUWA 代表 鴨志田 明子

いきいき市民推進チーム☆輝くSUWAの活動

長野県男女共同参画推進県民大会

11月4日



表彰を受けた後、県民会議記念事業紹介、飯綱町の事業紹介などがあり、最後は講演会がありました。「男性学の視点から男女共に生きやすい社会を考える」を演題として、田中俊之准教授(大正大学心理社会学部)のお話を聞きました。「日本では男であることと、働くということの結びつきがあまりにも強すぎる」と警鐘を鳴らし、「男は仕事、女は家庭」から「男も女も、仕事も家庭も」へ移行しなければならない、女性ばかりでなく、男性の意識を変えることを強調されました。

また、ワーク・ライフ・バランス再考として、次の様なことも提示されました。ライフ(Life)の3つの意味は、生命・生活・生涯です。①仕事と生命のバランス ②

仕事と生活のバランス ③仕事と生涯のバランス それぞれの視点で自分の人生を考えることが必要です。一歩立ち止まって考えましょう。人生の分岐点を。

ともに生きる諏訪セミナー

8月27日、「ともに生きる諏訪セミナー」学習会として「カードゲームで学ぶSDGs～持続可能なエネルギー社会とは～」を開催しました。国連が2030年までに17の目標の達成を目指している持続可能な開発目標「SDGs」。具体的に何をどの様に行動すれば達成できるのかをカードゲームで分かりやすくシミュレーションしました。講師はSDGs公認ファシリテーターである赤塚丈彦氏と関口守氏。この体験はとても貴重なものとなりました。



12月14日、まちづくりと地域課題をテーマに「ともに生きる諏訪セミナー」を開催しました。講師は県の信州総合ブランディング担当である船木成記参与です。(船木参与は、広告代理店の博報堂に籍を置き、尼崎市の顧問や高知大学の客員教授をされている方です。)船木参与から、まちづくりに関係する地域課題の他、長野県の5ヵ年計画や男女共同参画についてのお話をいただいたあと、参加者から今感じている課題や気になるワードを出してもらい「対話形式」で会を進めました。地方創生とブランディングの関係性、行政の役割と市民のふるまい、若者とシニアの考え方の違いに対するシレンマ、地域での支え合いとつながり方、人生100年時代に向けたまちづくりについてなど、会場から出た課題を参加者全体で共有する、今までにない諏訪セミナーとなりました。

男女共同参画社会づくりに向けての全国会議【東京国際フォーラム】

6月27日

男女共同参画週間(毎年6月23日～29日)の間に全国会議が開かれました。野田聖子大臣(内閣府特命担当大臣《男女共同参画》・女性活躍担当大臣:当時)のあいさつに続き、様々な分野でチャレンジ、活躍する女性三人の事例紹介があり、そのあと「スポーツを通じた女性の活躍」をテーマとしたパネルディスカッションがありました。女性アスリートだからあるいろいろな悩み、スポーツへの参加機会が少ない、月経への理解、女性の身体的特徴を考慮したトレーニングの必要性(激しい運動により無月経をひきおこす)、指導者との適切な関係(セクハラ、パワハラ等)などの報告があり、女性のコーチ不足や指導的地位に就く女性の少なさなど、色々な問題があることがあげられました。



男女で担う生活サポート講座「避難所運営ゲーム(HUG ハグ)」【市公民館】

11月27日

ここ何年か地震や台風等の自然災害が多く、諏訪地方でも例外ではありません。諏訪市男女共同参画計画「男女いきいき諏訪プランVI」(2018年度～2022年度)における課題4「地域・社会活動における女性の参画の促進」でも、施策②「防災分野における女性の参画の促進～男女の視点を生かした防災体制～」として取り上げられています。昨年11月に市内の行政区に男女共同参画についてのアンケート調査をお願いしましたが、その中で地域の防災訓練への女性の取組についてお聞きし、「訓練は男女同内容で実施」「消火器・消火栓の取扱いの講習を受けていただく」「避難後の対応として、衛生班・避難所運営班に配置している」などの回答をいただきました。



今回のサポート講座では、避難所運営ゲームHUGの体験を5～6名の5グループで実施しました。机上ではありますが、自分自身を、家族を、地域の皆を守るように、その時に備えて、市役所危機管理室の職員の指導の下、避難所運営をカードを使ったゲームで体験しました。また機会を作り、より大勢の方々に体験していただければ、と思いました。

視察研修

「公立諏訪東京理科大学」「ファナックパートロニクス(株)」

7月3日

公立諏訪東京理科大学を訪問しました。

「諏訪で唯一の同大学はどのような大学か」を知ろうとすることが目的です。職員の方の説明をお聞きし、質問にお答えいただいた後に校内を見学させていただきました。勉学に励む学生の様子を拝見し、未来を担う若者を頼もしく感じました。

また、ある日の地方紙に、同大学が「地域と連携した研究が行われている」という記事が掲載され興味を持ちました。大学内には、産学連携センターや生涯学習センターなどがあり、地域貢献・地域連携の取組が行われています。「電波のおはなし」「やさしい携帯電話のしくみ」「やさしいインターネットのしくみ」「不思議な数学」など地域の高齢者等に向けた出前講座があり、その中の「精神分析から読むエドガー・アラン・ポーの盗まれた手紙」の講座は、「受講したい」と大いに興味が湧きました。



引き続き、茅野市にあるファナックパートロニクス(株)を訪問しました。会社に近づき林の中に入ると、黄色い建物が目に入りました。車両も社員の制服も黄色に統一されていて、とても明るいイメージを受けました。7割が女性社員との事で、ライフステージに合わせた採用や働き方に柔軟に対応されているとの事なので、今後一層の女性の活躍を期待したいと思います。

生産工程も一部見学させていただきました。この会社はファナック製のCNCシステム・ロボット・ロボマシンの電源並びに各種ユニット類の製造を主業務としているそうです。ロボット・自動化機器を導入し、FA(工場全体の自動化システム)を推進している先端企業とお聞きしました。人口が減り働く人の不足する時代にあった有望な企業だと感じました。

「千曲市男女共同参画推進連絡協議会」との交流会

10月29日

千曲市男女共同参画連絡協議会の皆様をお迎えして諏訪市役所で交流会を行いました。千曲市は、平成15年9月、更埴市、戸倉町、上山田町が合併して誕生しました。合併前の1市2町には27の女性団体があり、合併を機に現在の連絡協議会を立ち上げました。以来時の流れで、会員の高齢化や若年層の加入停滞で現在は13団体になったとのことでした。

交流会は双方の活動報告に続いて、主として先方からの問いかけで、行政との関わりや、男性・若年の参加促進などについて意見交換を行いました。

終了後に市役所の玄関で、当会の横山副代表によるドローンを使ったの空中からの記念写真を撮りましたが、大変良い思い出になったことでしょうか。



日本女性会議 2018in金沢

10月12・13日

「たえようこれまでの道 彩ろう未知なる明日」を大会テーマに全国各地から多くの方々に参加し(諏訪市3名)、城下町金沢で開催されました。私の参加した第3分科会「議会の景色を変えてみよう」では、前尼崎市長の白井文氏のミニ講演、現職の金沢市議をはじめ大阪府島本町・東京都小金井市議の方々とのパネルディスカッションが行われ、「まず一歩を踏み出そう!」と気持ちをひとつに会場は大いに盛り上がりました。他に、地元女性能楽師の記念講演や記念シンポジウムが行われ、それぞれの生き様を垣間見れ大いに勉強になりました。ここでの熱気を今後多くの方々に伝えていかなければと思っています。

